

2024年度 訪問看護・介護保険施設等で働く看護職の看護実践報告会・交流会 開催要領

- 1 目 的 (1) 訪問看護・介護保険施設等で働く看護職が、互いの看護経験を共有しあい交流することで、ネットワークを深め、日々の看護実践の質の向上を目指す。
(2) 日常ケアを見直すため、介護現場での看護の役割を学ぶ。
- 2 日 時 2024年12月14日(土) 10:00~16:30
- 3 会 場 公益社団法人北海道看護協会 集合開催 (Web 併用)
- 4 対 象 看護職 (会員・非会員)
介護保険施設等で働く介護職 (看護職との共同報告者)
- 5 定 員 200名
- 6 参加費 会員：2,000円 非会員：3,000円
- 7 プログラム
9:30 受付
9:55 オリエンテーション
10:00 開会挨拶 公益社団法人北海道看護協会 会長 高橋 久美子
10:05~11:35 講演 「アセスメントに基づいたケアと介護職との協働」(仮)
講師 株式会社 ONMUSUBI 代表取締役 真鍋哲子
(前社会福祉法人援助会 聖ヨゼフの園 特別養護老人ホーム
医務室主任看護師)
11:35~11:50 質疑
11:50~12:50 昼食・休憩
12:50~13:45 実践報告 第1部 施設ケア (特別養護老人ホーム・介護老人保健施設など)
13:45~14:40 実践報告 第2部 訪問看護ステーション
14:40~14:50 休憩
14:50~15:45 実践報告 第3部 施設ケア (看護小規模多機能型居宅介護・グループホームなど)
15:45~16:25 交流会
16:25~16:30 閉会挨拶 看護師職能委員会Ⅱ 委員長 加藤 香
- 8 参加締切 2024年11月22日(金) 12時
※研修申込サイト<マナブル>からお申し込みください。マナブルの新規登録は当協会ホームページから可能です。登録、お申し込みについて、ご不明な点があれば、下記までご連絡ください。
- 9 演題募集 (1) 募集演題 : 9演題 (発表時間: 1演題 10~15分程度)
(2) 応募締切 : 2024年9月30日(月) 12時【必着】
(3) 発表スライド提出締切: 2024年11月29日(金) 17時【必着】
(4) 申込方法 : 北海道看護協会ホームページから「実践報告演題 申込書」をダウンロードし、必要事項をご記入の上 jigyoun@hkna.or.jp 宛てに送付してください。
(5) 演者は原則来館し発表していただきます。また、演者もマナブルからの申込が必要です。
- 10 抄録等 Web参加の方は各自マナブルよりダウンロードし事前にご準備ください。
- 11 個人情報の取扱い 申込で得た個人情報は、事業に伴う書類などで使用させていただきます。この利用目的の範囲を超えて取り扱うことはありません。
- 12 問い合わせ先 公益社団法人北海道看護協会 事業部事業課事業係 TEL 011-861-3292

2024年度 訪問看護・介護保険施設で働く看護職の看護実践報告会・交流会の
実践報告プログラム 決定！！

日時：2024年12月14日（土）10:00～16:30
会場：公益社団法人北海道看護協会 集合開催（Web併用）
参加費：会員 2000円・非会員 3000円



★この講演、ぜひ
聞いて欲しいです★

講演 「アセスメントに基づいたケアと介護職との協働」
講師 株式会社ONMUSUBI 代表取締役 真鍋哲子

（前社会福祉法人援助会 聖ヨゼフの園 特別養護老人ホーム 医務室主任看護師）

福岡県北九州市からご来道！！（予定） 全国高齢者施設看護師会の講師や
「病院ではない施設看護の専門性 介護と連携・協働して行う予防的看護ケア 上・下巻」の出版など
ご活躍中です。聴講後、きっと、前向きな気持ちになれるはず☆☆☆

実践報告プログラム（プログラムは都合により変更になる場合がありますので予めご了承ください。）

	テーマ	施設名
第1部 12:50～	1.介護老人保健施設における特定行為看護師の活動について ～今後の課題を考える～	介護老人保健施設 ら・ぱーす
	2. 看護と介護の連携—当施設で発生した褥瘡の事例の振り返りから	特別養護老人ホーム へいわの郷
	3. 大切な人だから…～人生の最期はウエストサイドで～	特別養護老人ホーム ラスール苗穂ウエストサイド
	4. 人生の最期を支えるケア	十勝勤医協ケアセンター白樺
	5. 入所面談における看護師の役割	介護老人保健施設ナーシングホームコスモス
	6. 入所者の思いを引き出す心づもりシート	介護老人保健施設アメニティ西岡
	7. 介護機器を導入してみて ～コミュニティホーム白石での取り組み～	社会福祉法人深仁会 介護老人保健施設 コミュニティホーム白石
第2部 13:45～	1. 過疎地域での在宅看取りの現状（仮）	遠軽地域訪問看護ステーションにじ
	2. その人の“最後まで美味しく食べる”を支えること —施設入居高齢者の食を多職種チームで支援した事例—	定山溪病院 訪問看護ステーションエール
	3. ACPを尊重した心不全終末期の体験 ～言葉と文化の違いを多職種連携で乗り越えて～	訪問看護ステーションアシスト
	4. 在宅療養における多職種連携の重要性と実践報告	はまなす訪問看護ステーション
	5. 医療依存度の高い利用者を多職種で支えた事例	旭川赤十字訪問看護ステーション
	6. 多職種連携の困難さから、緩和ケアが不十分だった2事例についての 報告	株式会社ナースエナジー 灯-あかり-訪問看護
	7. A訪問看護事業所における訪問看護師の感じる単独訪問による 困難感について	訪問看護ステーションとよひら・ちゅうおう
第3部 14:50～	1. 当院精神科訪問看護における多職種連携・地域連携と看護の実践報告	ミネルバ病院 精神科訪問看護
	2. 入退院を繰り返す心不全患者様への訪問看護の実際	新札幌循環器病院 患者サポートセンター
	3. 新卒訪問看護師を目指す私たちの成長物語	住宅型有料老人ホームなはちがる
	4. 認知症を患う高齢糖尿病患者とその家族を支えた事例を通して	JA北海道厚生連むかわ町鶴川厚生病院
	5. 看護小規模多機能型居宅介護ならではの在宅生活支援	看護小規模多機能ホーム「ミヤビの家」
	6. がん終末期療養者が最後まで自宅で過ごすことを可能にする 介護職・看護師の連携	看護小規模多機能型居宅介護つむぎ

今年度は、講演・実践報告のあと、交流会も行います！！ ネットワークを広げましょう♥
参加ご希望の方は、マナプルからお申し込みください。

参加の申込締切は「11月22日（金）12:00」です。皆様のご参加をお待ちしています。

公益社団法人北海道看護協会 看護師職能委員会Ⅱ

【お問い合わせ先】公益社団法人北海道看護協会 事業部事業課 TEL：011-861-3292